

第158回簡易アンケート自由意見 (544件)

質問12

最後に地震への備えについてご感想・ご意見がありましたら、自由にお書きください。

1	近年、公衆電話の数が減り、もしもの時に利用できる環境が悪化していると思います。いざというときに公共施設等の電話を開放していただける制度が整備できると良いと思います。
2	最近、地震だけでなく豪雨による水害などもあり、どのような時にでも対応できる対策についての学習が大切だと思う。 NTTや携帯電話会社などと協力して伝言サービスの使い方をしる機会を作ったら良いと思う。
3	水と食料の若干の備蓄を町内会単位でやっていると聞いたことがありますが、果たしていざという時に役立つのか半信半疑です。我々の町内会費がこのようなものに有効に使われることを切に望みます。町内会は戦前の隣組ですので、ご協力とご指導をお願いします。
4	我が家では、非常用充電式バッテリーを用意している。 食糧は、ローリングストックしている。 最低3日分を備える様、広めて欲しい。
5	改めて、災害時の備えに無関心さを痛感した。
6	地震災害は身近な問題として十分な関心を持たなくてはいけない事は、頭では分かっているが、なかなか備えは難しいです。自分は備えとして、食料品(缶詰・カップ麺位)は備えていると思っている。
7	埼玉県内でも地域により地震に対する備えは異なると思う。西部地域と東部地域、集合住宅か、戸建てか。私の住む東部地域は、元来が奥東京湾に利根川からの土砂が堆積した地で、地盤の強度が大きな因子になる。更に、利根川流域では破堤の恐れが大きく、その場合の避難場所が無い。これは、地震だけでなく今回の豪雨でも同じことである。市では避難場所を設置しているが、そこまでたどり着けない住民が多い。机上の空論で地図だけできている。家屋の損傷さえなければ、自宅に留まろうと考えている。もう1点、圏央道が造られたが、神戸の場合の様に道路の桁が倒れた場合は、それが下の道路を遮断して堤防となり幸手市内などは輪中の状況となるのは目に見えている。市域の大部分が岩盤迄10m以上である。地震と堤防・圏央道の倒壊、これが東部地域に住む住民の一番恐れる事である。
8	水の確保、避難用品、カセットコンロ等は揃えています。食品は、4~6日は食べられるようには何となく備蓄しています。今の心配事は、家族の右半身が不自由で、少しの距離であれば自力歩行は可能ですが、少し距離があると歩行は難しい。災害避難用に車椅子を購入しようか迷っています。
9	家族全員がスマホを持っているので安心。
10	また、大きな地震があることは頭の中ではわかっていますが、なんとなく準備ができないでいます。こういう人の対策をどうすればいいのか、恐れ入りますが、考えていただきたいと思います。
11	共助は期待できません
12	「災害は忘れたころにやってくる」の格言があるけど、「その時はその時に」の気持ちが強い
13	災害体験や非常用品が売っていないので、もちまわりで目にする企画などをした方が良いと思う
14	過度な恐怖を持たないようにしている。災害天災が何時きても、冷静平常心を持ちたい
15	もしもの場合の避難場所に対する不安があるので、地域ごとの避難場所を広報紙などを通じて明確にしてもらいたい。
16	備えあれば憂いなしということを知っているのに実行が伴わない事は反省すべきだと思っています。なぜか、理由もないのに自分のところでは災害が起きないだろうと思っている油断が大問題だと、今回改めて反省しました。また、行政の方も、災害に対しての注意喚起を、時々していただければと思います。それが、私たち庶民も、気をつけなければという気持ちになるきっかけになるのではないかと思います。よろしくをお願いします。
17	マンションなので、定期的に避難訓練や炊き出し訓練がある
18	古い家なので心配です。
19	お役所に聞きに行ったら、説明がよくわからなかった。
20	各家庭での備蓄は保管場所など幅を取り、家族全員の3日はなかなか置いておくのが難しいのが現実です。 簡易トイレの準備もしてみましたが、どれだけあったら足りるのか不安はあります。 家具の固定はしないとイケないと思っはいますが、行動に移せていません。
21	ダイヤル171の使い方に関する情報が少ない様に思います、各家庭にチラシなどで提供しては如何ですか？

22	災害に備えは必要だと感じているが、つつい面倒で備えそびれている。
23	備えあれば憂いがない、とは承知しているのですが、なかなか備えができない状況です。災害時の離れた子供たちへの連絡方法もきちんとしていません。これから足りない点を補充するように努力します。
24	便利な世の中になって、それは有り難いが、有事の際も、誰かが何とかしてくれるという感覚になってしまったのは確かだ。やはり学校教育において繰り返し繰り返し、災害時の対応についての教えを普及啓蒙していくことが大切であると思う。
25	地元市は近隣の都市に比べて、災害の発生が少ない。我が家の位置はそのなかでも最も少ない部類に属しているようで、60年ほど前に越してきてからこの方、一度も災害に見舞われたことがない。災害時は未だに地下水を使用できる（手押しポンプなどで）井戸を持っているご家庭があり、その家には災害時に水をよろしくとの了解を得ている。水があれば、1週間程度は過ごせるとタカをくくっている。
26	隣接地域まで避難指示が出ていたので危うかったが、台風時膝を痛めていたので、いよいよとなっても暴風雨の中重い持ち出し袋をしょって避難所まで行ける気がしなかった。
27	いつ起こるか分からない為、備えを万全にしておきたい。 家具転倒防止も早急に検討したい。
28	町内会の副会長になった折に、集合場所・避難場所を確認した。 但し、昨年台風19号の折、避難場所の小学校が水害の恐れがあると使用できなかった。今後どうするのか問題を感じている。
29	地震は心配していない
30	食品と水の備蓄をしてもいつどこで被災するかわからないのに、7日分以上も備蓄を進めるのがいまだに理解出来ない。実際に、東日本大震災時は職場にいて翌日に帰宅した。そこから計画停電の影響で1か月は何も食品は買わなかったが（電気水道には困らなかったため）、家にあるもので普通に食べて暮らせた。野菜は乾物を使い、小麦粉でパンを作ったり。要するに、自炊力のない、知恵を使えない人が多くいるということが問題で、自活力の向上が必要だと思っている。
31	家具の転倒対策だけでは無く、扉に耐震ラッチを付けた。
32	「3つの自助の取組」の必要性を痛感しているが、面倒で実行していない。実行しなければならぬと思う。
33	いつ来るかもわからない災害に備える事は、非常に難しい事です。
34	今後の大地震に備え、真剣に考えていきたい。
35	個人でも備えますが、家の倒壊等の時には県・市にお世話になると思います。よろしくお願ひしたいです。
36	ちゃんと備えないといけないという思いがあるが、日々の生活を優先してしまっている。今後は考えたい。
37	地域自主防災広報を担当しており、備蓄についてはローリングストックを推奨しております。
38	マンションの高層に住んでいるので停電になると1階まで階段を使って徒歩になります。食糧やトイレ関係は最低限いつも準備しています。
39	食料は大変です。カンヅメをはじめ食料は期限切れが沢山出ます、気づいたら入れ替えますが、期限切れを食べて処理してます、順繰り入れ替えれば済むことですが、実際には無理です。言うはやすし、行うは難し、のいい例です。話しているのですが、この繰り返しです。缶詰の処分はうんざりです。いい方法はありますか。
40	やはり食料とティッシュペーパー（その他）類は備蓄しておいたほうが良いですね。その意味で私の家の対応は落第です。
41	自宅での非常食等の準備には限りがあるので、ぜひ、備蓄品を多く用意していて欲しいです。
42	地震への備えの方法にはいろいろあると思いますが、それらをまとめたパンフレットのようなものを作成し配布することは効果的だと思います。
43	しなくてはと思いつつも何にもしていない、出来ていないのが実情。
44	今後も備蓄品を検討したい
45	どこから手をつけて良いかわからないし、部屋が狭いので備蓄するのが難しい。
46	今後の災害等に備えて、いろいろ情報を収集し、準備していこうと思いました。
47	つつい忙しくて後回しにしている人が大半だと思います。いろいろなイベントの時に会場全員で体験する機会があるといいのかもしれませんが。 例えばコンサートホールとか寄席とか舞台とかの前に芸人さんなどに一緒にやってもらうとか。皆さんと一緒にすることがいいと思います。 一回では覚えられないこともあると思います。何回もすることによって、知らない友人にも伝えられるかもしれません。
48	自治会などをもっと活用すべき。

49	我が国が地震国である事を考えれば、日頃からの備えをするのは、当然の事だと思う。但し、そうした備えを常にアップデートし続ける事は、かなり大変な事だとも思うので、自分だけ、家族だけ、ではなく、隣近所との繋がりも大事になってくると感じている。
50	その時にならないとわからないので、余り心配していません。
51	地震への備え 改めて確認しました。
52	水の備蓄はもちろんだがトイレが心配です
53	常在戦場の気持ちで日常生活を過ごしている。
54	災害が起きてからでは遅いので、常に必需品の備蓄はしておかないといけない。地域の広報紙やハザードマップの確認、避難所の確認も再度確認しておくことが重要だと思う
55	比較的自然災害に安全と言われている地域に住んでいるので、特に危機感を持っていないが、昨今の頻発する自然災害に対して、少しずつ準備を始めたところです。人命が第一ですが、文化財保護などを含む幅広い対策が重要だと思っています。
56	備えていても実際に持ち出せるか心配。また、家のどこに置けば安全かわからない。
57	かなりの備蓄は必要と感じている、おいおい準備ころがけます。
58	いざとなったら困るであろうことは予想できるが、なかなか自分のこととしてとらえられず、備えがおろそかになっています
59	学校で案内してもらえるとキッカケになると思います。
60	冬に発生した場合の暖房については、何がベストかわからない。
61	地震や台風は、既に身近な問題で、自己責任の部分も多いと自覚している人が多いと思うが、それ以外の人々が、メリットのある仕組みはいかがなものかと思う
62	地震への備え5カ条のような形で周知してもらえると有難いです。
63	災害対策の重要性を再認識しました。
64	普段からの備えが大切です。
65	起きないことを祈るだけ
66	天命を待つ
67	公共機関に頼るのではなく、自分で万が一に備えるように、広報をすべきである。
68	対策の必要性は感じている。しかし、その対策実行に至っていない。
69	備えは大切と思いつつも、なかなか、できません。アンケートをしてみて、また、いろいろ考えさせられます。
70	大地震がきたら逃げるしかないと思う。
71	避難所の耐震対策に力を入れてほしい
72	もう少し深刻な対応してもいい!
73	災害時の備えがどうも足りないことはわかっているが、実行に移していない。反省しています。
74	いつ起こるかかわからない災害なので、備えをしっかりとするのは、限界を感じる。食料は消費期限があるので。
75	30年に7割の確率で大地震が起こる事につき それではどうするかに対し一般的な防止策以外考えないのが一般的ではないか
76	東日本大震災が良い見本になりました。
77	戸建て昭和58年以降に建築した物件であるが、倒壊が怖い。家族には地震発生時は、2階に避難するように伝えてあるが、外に出る行動をとっている。行政で、具体的に地震発生時の避難方法を個別に指導してほしい。各家庭により家族構成等、建物も違い、個別の診断が必要ではないか。
78	「備えあれば憂いなし」の教訓を守りたいと思う。
79	新耐震のマンションなので、ここにとどまることが、一番安全と言われているので、他に避難することは考えていない。
80	自動車のガソリンをいつも半分以上確保。畑には野菜を確保。庭には500リットルの雨水タンクを設置。
81	家は軽量鉄骨のラーメン構造ですが、万一住めなくなったら那須塩原の別荘に避難する事を考えています。
82	家族で7日間程度を賄える水、食品は常置している。首都圏ならその位維持していれば助かるだろう。それ以上の期間復旧しない事態になったら、最早生命が助かることはないだろう。覚悟は出来ている。
83	遠くの親戚より 近くの隣人 日常の生活で ご近所付き合いを大事にしています
84	自宅にいて地震が起きるならそれなりに対策はあるが、家族がバラバラで勤務先・学校にいた時に起きた場合、その安否を確実に知ることができるかどうかは不安。スマホのつながりにくい状態、充電不足などに対応できるような対策をどの避難所でも行えるようにしてほしい。
85	地震の確率が30年に70%というのが、「地震は現実的にはほとんどないだろう」と逆に捉えられて社会的には対策が進まないのが現実のような気がしている。もっと差し迫った表現がないものだろうか。

86	今まで何も対策をしていないが、今後考えたい
87	いつ地震が起きてもおかしくないのに、意外と備えができていない家庭が多いのでは？民生委員のように公的役割をもった形の、防災委員（仮称）といった仕組みが必要と思う。自己責任として、本人任せであってはいけない気がする。
88	備蓄用の食料は、買換えを忘れてしまうことが多い（良いことですが・・・）。防災の日が近づいたら、備蓄用食料もチェック時期などと広報して頂くと助かる。同時に近くのスーパーなどで販売してもらうと有難い。
89	年令的なものもあり意欲的にもう一歩行動する努力ができない
90	いつ来てもおかしくない地震への備えの必要性和大切さを、本アンケートで再認識させられました。多謝。
91	このところ地震が相次いでいますので、備えあれば憂いなしにしたいと思います。
92	東日本大震災が起きて、地震保険に入った。 多少の備えに気を付けている。
93	避難所の設備、特に床対応を早急にしておいてほしい。毛布や段ボールではこの寒さに対応できない。空気マットとか、組み立て段ボールベッドとか。
94	地震への対策の分かり易いリーフレットがあると助かります。地盤、家屋などの状況について把握することも大切だと思います。
95	オリンピックだのやっている余裕があるなら、全戸に耐震グッズを配ったほうがよい。
96	家具などの転倒防止を一部しかやっていないので全てにやろうと思いました。 水や食料は充分準備していますが、定期的に賞味期限の確認やラジオの電池が切れが無いかなど点検が必要かと考えています。
97	一人暮らしでペットの犬がいるので、なるべく自宅で過ごせるように備蓄しています。ただ自宅が古い木造建築なので心配です。
98	ペット（犬）を飼っているので、共に避難できる場所や、事前に備えておいたほうがいい物などの講習会を県内の遠い所ではなく、市内で受けられたらありがたいです。
99	いつどこで、地震に遭遇するかわからないので、そうなったらそうなった時にと、あまり具体的な対策はたてていません。
100	耐震性能の高い住宅に住んでいる
101	最近地震の回数が増え来たように思いますので、家具などの転倒防止を徹底したいと思います。
102	特に、食料品については、もっと多く、しっかりと備えをしなければならないと、改めて考えているところです。
103	あらためて、何も備えていないことを意識し、見直しする必要性を再認識しました。
104	家族の一部ではなく、全員で共有するようにしている。
105	大災害時は食料品など3日分だと足りないので買い足そうと思っている
106	1) 墓参中に震度4クラスの地震が起きたことがあり、幸い電車が本数を減らしながら運行していたので、無事に帰宅することができました。自宅周辺だけではなく、各自治体、都道府県における緊急避難場所を把握しておく必要があると思います。2) 自分の居住している自治体で、どのくらい（人数、日数）の食糧品、飲料水、日用品などの消耗品を備蓄しているか？情報公開してほしいです。
107	時間を見て対策を講じる必要を考えます
108	わが団地は、震度5以上の地震の発生確率が30%以下で、地盤が強固と言われている。水は、団地の共用タンクが電気が不通になっても3日分保有しているし、我が家の冷蔵庫には、2日分程度の食料は、常に在庫を保有している。それだからではないが、我ながら、災害に対してピンと来ていないのは、”まずい”かな？とは思っているが、実際の準備としては、上記の通りである。
109	大きな揺れの地震があるたびに、いざというときの身を守る方法などを話題にし、また避難や防災について話し合っている。 所帯を持って外に出ている子供たちにも機会あるごとにビル街での安全な避難の仕方や冷静な行動について、また日頃の防火、食糧備蓄などについても注意喚起している。
110	今年のように気温の変化がおかしいと、何か地球に異変が起こっているのか不安です。緊急時避難場所まで歩いていけるのか？リュックを背負って動けるのか？高齢者になって心配です。水・食料・薬は少し準備しましたが、いざというとき金銭はどのように？有難いことに今まで経験が無いので、すごく不安です。 災害が起こらないように、願います。
111	何もしていない。個別に指導して欲しい。
112	地震で家が崩れるのも怖いですが、一番は火事だから。火事対策を県はすべきだ。と思う、例えば、木造の家の建ぺい率を抑え、延焼を防ぐとか。
113	親族も少なくなったので必要性も低くなった
114	自分は地震に対し無防備である・・・反省
115	危機感を常に持ち続ける事を忘れがち。

116	大きな地震の直後には備えが必要だと思い、水・保存食を3日分ほど用意したが、3～5年の賞味期限が切れる頃に消費してからは、そんなに追加していないので備蓄分が減ってしまった。備える意識も減ってしまっているの、今回のアンケートをきっかけに、もう一度保存食等の点検をしようと思いました。
117	正直、大地震が起きたら諦めるしかない。発電機、携帯ガスコンロ、携帯ガストーブ等用意してあるが、神戸の様な地震では倒壊、火災とどうしようもない。
118	大事なことは広く周知して下さい
119	高さのある家具は置かない方向へ変えようと思っている。寝室は物が無いようにしたい。防災無線がすぐに情報を発信してくれるよう祈る。
120	各自治体が連携し合うのが効果的です
121	ライフラインが途絶えた時のことを考えて食料や飲料の備蓄は必要だと思う。
122	実感がないが、もっと水害、台風対策に備えようと思った。市町村をはじめ、埼玉県もしっかり災害対策のガイドブックやアイテムを供給してほしい。
123	実感がないから、これで良いのかわからない
124	自治体の備蓄がどのくらいあるのか知りたい。
125	うちにはペット、認知症の家族がいます。避難所には行けないものとしてキャンプ用品などを準備しています。ペット、認知症の老人などすべて受け入れてくれる避難所があれば助かります。ずっと滞在でなくても一日のうちの数時間でも受け入れてくれるとありがたいです。
126	埼玉県は東京直下型地震に備え、都内等からの避難民対策を立案する必要がある。
127	災害時伝言サービスを体験した事があります。実際、被災時にどれだけ落ち着いて出来るかは分からないけど…。東日本大震災の時、浦和の勤務先にいて怖くて身動き出来なかった。自宅でどんなに準備をしても帰宅出来なきや無意味です。災害時に自宅に戻る方法を考えなければなりません。
128	県民の生活と財産、いのちを守る自助防災準備チェックリストの県民への配布に期待
129	大地震が来たら逃げます
130	高齢で体調も悪いので避難出来るか心配です。
131	必要性を感じておりながらつついそのまにしている。
132	現在は各市町村から「ハザードマップ」が発行されている。この内容により「個々の対応策」がわかる様に一歩進めたら如何かな。もう一つ、上記の文面でも「ただ家具」とされているが一番にされた方が良いのは「冷蔵庫」です。更に、ドア、引き出しが開かない、飛び出さない様にしなければ意味がないです。
133	30年以内に70%の確率で大地震が来るという説があるのを聞いています。一方で大きな地震の確率は何百年の間隔で起きているという説もあります。古い時代に北海道で起きた地震では余震が6年くらい続いた記録もあるそうです。今、私に考えられることは埼玉を震源とする大きな地震（震度7とか、8とか）が向こう30年の間に起きることはないということです。地質の動きはランダムです。予測は出来ないと思います。今、埼玉に必要なことは人口を増やさないこと、効率的で公平な行政をすべきです。
134	身の回りに障害者がいるので、避難場所、避難所へ行くことが出来ない。
135	3.11の時に崩れた本棚等の経験があるので、その対応を急いだ。
136	天災はいつ起こるかわからないので、日ごろから準備していることが大切だと思います。
137	寒いけど、部屋のドアを開けて寝ている。お風呂の水は抜かない。ペットボトルを買っておく。 台風の時に備蓄や防災について考えました。
138	東日本大震災の後は食料や水を確保しました。その後賞味期限が切れてしまい更新したのですが、徐々に量が少なくなっています。 必要はかなり感じるのですが、のど元過ぎればどうしても危機感が薄れてしまいます。
139	日頃から地震対策を考えて備えておくことは大変重要であると思います。
140	地震に対する備えは必要と考えている。最低限のものは備えているが、今後もっと準備していきたい。
141	災害が身近で起こらないと準備が薄れてくる。
142	家族との情報共有、正しい情報のキャッチ、判断が必要だと感じます。
143	不安であるがあまり準備ばかりしても整理整頓が大変です。
144	リュックサック2つに必要品を詰めてベッドの脇にある。 品物を定期的に確認するのが、出来ない。
145	できるだけ自宅で過ごせるように自助努力は必要。

146	大地震時に「自助」が最も必要と考えている。特にマンションに住んでいるとマンションが倒れることがない場合在宅避難がさらなる被害を出さない最も安全な方法であると思うがあまり強調した記事がない。災害は地震に限らないがどこでも起こりうる地震にもっと真剣になり非常時に備えたいものである。
147	仕事中に大地震が来た場合、電車が止まって帰宅できなくなるのが最も不安です。
148	日頃から市の防災等の放送が聞こえにくいところに住んでいるのでもう少し整備して欲しいです。
149	地区の避難場所があるのかよくわからない。日常的に承知徹底をしてください
150	予測がつかないので少しだけ用意しています
151	もっと意識しなければならぬと再認識しました
152	ストックしておいても、使わなかったら無駄になってしまう。
153	地震の備えについては家具やガラス対策はしていますが食糧対策は周期的に入れ替えが必要な為に中々難しいので市町村で定期的に回覧版などで知らせる対策等をおねがい出来れば助かります。
154	自助努力のみでどれだけ耐えられるか心配。
155	トイレが一番困るとききますが、その事に関して、用意しておくべき事の情報が少ないように思います。避難所には、断水した場合の、トイレ等の対策はどのようになっているのでしょうか？個人で備えておくべきもの教えてほしいです。
156	家族の状況や形態が変わってしまい、都度話合うのがおっくうな状態。家族が乗り気でないのも話題に出しにくい原因に。
157	避難袋は用意しているが中の食料の補充は全くしていない状態
158	まだまだ問題が残っているかもしれないが、考えられる対策を打ったと感じている。
159	密集住宅地における地震による火災への対応が不十分であることは認識しているものの、超長期的な対応策がないことへの不安と不満が消えない。
160	災害用伝言ダイヤルサービスの中に、家族の登録ができて、災害時家族の安否確認ができるサービスをしてほしい。
161	地震への備えについては、各方面からいろいろ言われ十分わかっているが、なかなか実行できないでいる。気が向くと食料なども備蓄してみるが、それだけで終わり時間が経つと忘れ、古くなって処分するとその後が何年も補充しない。この繰り返しである。
162	阪神大震災の後 寝室とかの 家具は処分しましたが、 が しかし ライフラインが止まると心配です。
163	アンケートに答えながら備蓄をもう少し増やさないといけないと反省した。
164	過去の事例を見聞きすると、実際は想像以上に大変、うろたえると思います。 この機会に家具の固定、飲食料の備蓄、避難経路確保など心がけたいと思います。
165	手の打ちようが無い、
166	避難時にどこの場所でどの程度の備蓄、毛布等が備えてあるのかが分からないので避難場所一覧表に備蓄数量、避難収容数等を記載してほしい。
167	避難場所に全ての備蓄を確保するほどスペースはない。
168	できる限り、普段から意識して備えたり、考えたりすることは必要だと思います。
169	災害時の家族間の連絡方法について徹底を図りたいと思っています。
170	地震対策の内容は既に理解を深めるよう、努力しているが、今すぐに諸対策を実施すべきか否かはまだ、決めかねている。床上浸水などの被害は被り、経験しているが、これを地震対策に置換すべき反映は当然だが、その時期が決めかねる。 日本は地震大国で、その発生予測等は水準が高いはずだが、国を挙げて国民を救うための予測技術の向上を徹底してやるべきだ。そしてこれに国費をかけるべきだ。
171	寝ている時の緊急地震速報は、枕元に携帯電話があっても意外とすぐに気が付かないものだ実感している。起きてもすぐに頭が働かない。 なので、寝る場所は、極力、リスクを排除した部屋が良いと思っている。
172	やろうと思っても人ごとのような感じで考えてしまう。良くないですね。
173	災害時の備え、必要なことは分かっているが、メンテナンスが面倒で、期限切れのまま放置の状況。
174	一番の悩みは、マンションの1階に居住しているため、倒壊によることの対策がありません。我がマンションはマグニチュード7までは耐えられることになってはいますが。運よく外出しているときに発生していればセーフですが。倒壊の場合ギブアップです。
175	備蓄の必要性は十分感じています。
176	推進していただきたい
177	台風大雨の時に経験したが、避難場所に避難で行ってもいっばいで避難できず、他の避難場所へ誘導されるが駐車場がいっばいで入れず引き返した。事前に状況把握ができないで引き回された。年寄りを同行していたので行政の指示に従い行動したが役に立たなかった。悔いが残る。

178	日常の行動の一部となるようにと考えている。散歩をしながら、住まいのある周辺の様子を見ています。周辺の危ない場所をより見やすい表示や広報をお願いします。危険地図だけでは理解しがたく、現場や道路沿いなどに表示板をお願いしたい
179	一番に行政をお願いしたいこと。 それは幹線道路の電柱をすべて無くしてほしいこと。
180	備蓄が3日から1週間となった。 サララップは優れもの。
181	行政にばかり頼るのではなく、もっと自己責任で自分を守る術を自覚するべきである。
182	企業や会社、マンションや自治会で年に1～2回訓練をすることが有効で、嫌でも備蓄の意識は出来、避難所や連絡方法も覚えるし、訓練のために伝言板アプリも連絡先もインストールすることになる。
183	改めて、見直す機会になりました。 ありがとうございました。
184	寝室に大きな家具は置かないようにしています
185	食料、水などの備蓄については、頭で理解していても、置き場所や賞味期限などのメンテナンスを考えるとなかなか実行できない状況です。
186	地震への心構えは、ある程度出来ていると思っても、いざその場面に遭遇すると、あたふたと動揺するのではないかと、不安はある。考えるきっかけとなるべく、ホームページや広報などで啓発をしていただきたい。
187	非常食準備は行政・小売店連携し強力に進めるべきと思います。助成金制度を設ける等も必要と思います。
188	いつやってくるかわからない地震。物の備えがあっても、心の備えは、いざとなったらわかりません。そちらの具体的な方法を知りたいです。
189	停電、季節によって対応出来るか不安。 トイレなどの心配もある。地域ごとで互いに協力しなければならないと思います。
190	大きな地震の時、仕事で家にいない時どうしたらいいのか心配。
191	先日、さいたま市危機管理部防災課の方から「我が家の防災対策」についての講義を受けた。その時認識したことは、まだまだ不十分だと云うことが明確になった。自分の家庭ではそれなりに対策を講じたつもりだったが、手が付いていないものが沢山あり、中でも、仏壇や冷蔵庫、ガラス戸の付いた書棚などを早急に対策を講じるつもりである。可能であれば、防災対策用のパンフレットを各家庭に配布すべきだと思う。機会があれば今回の様な講座を公民館などで実施している所などで定期的にも実施するのも良いのでは…?!
192	地震は単なる地震でなく家の倒壊、交通網の寸断、火事の発生等災害は限りなく発生するので万全の対策をする必要性を強く感じます。 よいチャンスなので一度見直しをします。
193	地震への備えは理解しているが、突然の大地震発生時には無力だろうと感じてしまう。それでも準備を怠るわけにはいかない。
194	なんとか落ち着いて行動しようと思っています。 それと、近所の人と協力絶対必要と思っています。
195	家庭で使用できるバッテリーを準備したいのでアドバイスが欲しい
196	もっと必要性を広報して欲しい。
197	運べる重さにして置いておくなど考えないといけないので、なかなか手付かずになっています。やらなきゃとは思いますが。
198	地震予報が遅い スマホが早く教えてくれます
199	大地震が来ないことを願っています。
200	地域によって、備蓄倉庫に違いがあるように感じるが、その点はどうなのだろうか。これからは、地震に限らず、台風などの天災すべてに備えが必要だと思っている。
201	ほんとに 地震がきたら 諦める。期待として オリンピックの後に来て欲しい。
202	いつかは来るものと覚悟を決めている
203	一度家族で話し、色々取り決めや備えをしようと思っています。
204	地震だけでなく、台風や水害に対する備えも大切だと思います。
205	地震や災害は時、場所を選ばず起こります。 慌てず命を守る行動をしなければと思います。
206	食料の備蓄が少ないので用意したいと思っています。賞味期限のチェックをよく忘れてしまう。
207	しっかり非常食を用意しておこうと改めて思いました。
208	被災時に個人が臨機応変にいろいろな対応、判断が出来れば良いと思うので行政機関には情報の質と管理の向上をお願いしたいと思っています。
209	非常用持ち出しバッグや大容量バッテリー等の用意はある。電源ブレーカーの振動遮断装置の取り付け、テント寝袋の用意など非常時に備えている。

210	「命を守る3つの自助の取組」の重要性は理解していますが、缶詰以外長期保管をしていないのが現状です。
211	どこかで大きな地震があると不安になって備蓄品の賞味期限など確認したり消耗品を買い足したりするが、日にちが経つと気が緩んでしまいます。これの繰り返しです。最近では新型コロナウイルスの不安もあり出歩けない時のための水や食料と外出用にマスクやアルコール消毒も余分に買いました。廊下に物が溢れています。
212	最近の色々な情報に接して、今やるべきことを考えている。日本全体が被害の対象と考えるので、サバイバルの為の情報発信を適宜してもらいたい。
213	いざという時のホットライン開設などの情報提供をして欲しい
214	居住地域、環境から、災害に疎い状況はあると思います。しかし、今日の気候変化等における様々な災害は、どこで何が起ころうが予想を遥かに超えています。他人事とは言えない状況をしっかり自覚して、今からでも取り組める事を実行に移していきたいと思います。
215	古い家の外壁の修繕を勧めてほしい。助成や働きかけをして危ない建物や外壁をへらして欲しいです。
216	水や食料だけでなくティッシュやトイレットペーパー、カセットコンロ・ガス、現金（小銭）、非常用トイレ等も備蓄するように行政としてもっと働きかけが必要。十分伝わっているとは言えないと思います。
217	家屋が倒れたら何をしても無駄で、命を守るほうが大事だと2011地震で（東北の現場にいたので）気づいたかも。とりあえずは車のガソリンだけは常に満タンにしている。田舎なので安全に逃げる方法を第一に考えている。
218	水は確かに足りないと思いますが（補充したばかり）賞味期限の関係で入れ替えると足りなくなるのがネックです。（長期保存のものは高いので）
219	火災や震災時に自治会等で年何回か役員を中心に安否確認の訓練をしています。家族間もスマホやSNS等で連絡が付くよう平時から考えておく必要が大事と考えます。
220	サンダルの予備を準備している。
221	災害時に医療機関が長期に麻痺した場合、持病の薬の調達方法が知りたい。
222	避難場所は早いもの順って本当ですか？
223	「災害用伝言サービス」を平常時に体験できることを知りませんでした。試してみようと思います。
224	いずれ起こりうる地震に備えることは自分を守るために必要な事と考えます。
225	災害用伝言サービスの体験を出来る機会を増やしてほしい。毎週土/日にはいろいろなところで防災に関する集まりなどが行われていると思うので、いつでも試すことができるようであれば普及しないと思う。
226	切実感がないので準備をしていませんが、19号台風を経験してから考えるようになりました。もう少し自治体が各地域に下ろして周知していった方が良いと思う。
227	対策は重要だと感じているが、全然実感が湧かない。
228	災害時の防災カーや、防災放送が全く聞こえない。戸別に防災放送が聞こえるようにして欲しい。
229	指定の避難場所は避難者が多い場合収容できない不安がある。
230	緊急地震速報は大変良いと思うけど正確性を望みます。
231	家が潰れるくらいの地震が来たとしたら、なるようにしかならないと考えてるので、あまり深く考えてません。
232	避難所生活はつらいのでできるだけ自宅もしくは自宅の跡地で過ごせるように考えている
233	もう一度この際、点検と買い足しをしようと思いました。
234	地震は防ぎようがない災害。しかし、発生したらどう動くか、しなくてはならないことは何かを把握しておく必要があると思う。
235	実際に災害が起きたとき、避難所利用を断られることがあることや、避難所利用をしていないと、食料を貰えないことがあると聞いたことがある。 それが本当なら、知らない人の方が多いと思う。 これでは災害時混乱を起こすのでは？
236	備えをどれだけしても足りないと感じてしまう。
237	備えは最低限。 いかに備えはしても、所詮万全な備えは無理。家具のない部屋を用意しそこを寝室としている。
238	災害いつ来るかわからないので日頃用意できる物は用意しておく

239	天災はとてつもなく強力で恐ろしいもの。備えあればの、ことわざにあるように十分に用意をすることが必要である。家具や自宅の倒壊等があり、生活に必要な食料や飲料水は最低限自宅に備えておくことが絶対条件だと思っています。我が家では家具の転倒防止を怠っているので、至急備えたいです。「自分の家は自分の家族が守る」を意識して各家庭が協力していければ良いと思います。
240	必ずいつかくる地震なので、備えておく必要は感じるが、まだ甘く考えている気がする
241	最悪を考えたら、何しろ逃げる。家具の転倒防止、食料・水の確保など、家自体が潰れたら何もできない。とにかく、何がなんでも、逃げる工夫を考えている。
242	避難場所を大きくわかりやすく表示してほしい
243	他人事ではいけないので、リビングや寝室の家具の転倒防止など対策したいと思います
244	いろいろ用意しておかなくてはならないとは思いつつなかなか踏み出せないでいる。
245	国や自治体の対策や方向を市民に周知してほしい。駅や図書館など公的施設にも掲示してほしい。
246	災害は地域差があります。埼玉県中西部は今まで災害が少ないので、考えが緩いと思われる。自宅の近くでは、最大リスクは地震火災でしょうか。飲み水は近くに大型受水槽があります。避難場所、避難経路日頃から歩いて危険物がないか確認するようにしています。
247	食器棚などが倒れた時にガラスが飛び散りにくくするように、保護シールを貼っている。このようなことも併せて広報すると良いと思う。
248	災害の危険性を分かり易くPRしてほしい。
249	食品より飲料の確保及び移動を考えています。
250	80歳以上の老夫婦家族では、気が付いてもいざ準備実行を計画しても計画通りにことを進捗することが困難な場合が多い。子供たちも遠方に居住しているため、年に数回しか会うこともかなわず困っているのが実情である。「いざという時のためには」日々の心がけと、少しずつでも完備する努力を積み重ねてゆく努力を惜しみなく実行したいと考える。以上
251	恐ろしいのは、地盤だと思っています。地盤に大きな亀裂が出来れば、いかに家屋を頑丈にしても土台が崩れてしまいますので意味がなくなります。地盤の亀裂を知ることは不可能です。家を立てるときに、地盤検査をしますが、どれくらい下の地盤まで検査するのでしょうか？
252	しなければと思いつつ、まだいいかと先延ばしにしています。いつまでに、どれくらい、何をすればいいのかという簡単な指針のようなものがあれば、それに沿って各家庭で備えがしやすくなるのではないのでしょうか。全戸一斉の避難訓練や、備蓄品のチェックなど、地域の防災拠点や自治会などでできるものから始めてほしいと思います。他力本願と言われそうですが、自分だけではなく周りの目もあるので、自分だけよければというわけにはいきません。こういうときこそ自治会の出番だと思っています。町内会費の使い道として防災用品を配るとか、もっと備えを身近に感じさせる工夫が必要だと思います。
253	10L水タンクを風呂場に置いて、3日おきに水道水交換
254	市はいざという時にどういう対応をしてくれるのか
255	我が家にはペットが多数いるので被災しても避難施設には入れないと覚悟しています。車の中でなんとか数日やり過ごせるよう知恵を出し合っています。
256	備蓄は持っているだけで安心ですが3か月に1回見直している 家にいる時だけでなく外出中家に帰れない時のことを思って気持ちを備えておかなければと思っています
257	地元市は災害被害が少ない都市との認識で安心している。
258	カップ麺はガスか水道が止まれば使えないので、食料備蓄は何を備蓄すれば良いのかわからず、ついおろそかになっています。レトルト類と菓子で1、2日は持つと思いますが、東日本大震災の経験から言うと流通が止まった場合3、4日目不安です。
259	いろいろ考えると不安ばかりになってしまう感じです。仲間もみんなそんな感じの人が多いです。備蓄は屋外の物置が一番良いと話し合っていますが、実行していません。
260	高齢者・障害者の両親を自分ひとりで避難させることができないので、自分も諦めて一緒に命を落とすしかないと思った。
261	備蓄倉庫の充実をお願いしたいですね。
262	畳の部屋の大型家具の転倒防止の方法と支援サービスを高齢者世帯に特に必要と思います 特に高齢者では出来ないため有料でもしていただける業者の紹介を自治体のホームページに掲載。安心して依頼出来たら実施率が上がると思う
263	地区の自治会で防災会が出来ており、定期的に訓練を実施している。防災会のない自治会がないよう県でPRをしたら良いと思います。
264	何か対策をしなくてはと思っているが、なかなかできない
265	備えあれば憂いなし

266	非常食の定期交換ができると助かります。訓練の際に持ち寄って水や食料を消費し、新しい水と保存食を手に入れて帰ると、訓練にもなり備蓄にもなるかと思えます。備蓄がすすまない理由の一つに、保存期限の問題もあるかと思えます。
267	常に地震の意識を持つこと的生活習慣が必要だと思えます。
268	常に最新の情報収集をしている。例えば、インターネット、新聞、ラジオ等注意して読んでいる。
269	近辺に農家の井戸がありますが行政が品質管理をしているのか、井戸のポンプ等が機能チェックされているのかなどけねんしています。また、近辺の崖地に湧水が多く有りますがこれ等の活用の整備も必要と思えます
270	国・県・市はあてにしない
271	家具の固定も大事ですが、食器棚の扉が開いてしまうのが心配です。テレビが大画面になっていますので、裏側で固定しています。実際に大地震になると、今の内容で十分とは思えません。
272	地震への対策は重要だと思えます。地震に対応するボランティアを強化した方がよいと思えます。
273	これからは、もっと真剣に取り組んで行きたいと思えます（現状では不十分）
274	ペットの同行避難ができない自治体が多く、また避難所が満員になると入れなかつたり等あって行政を頼りにできない。地震ではないのですが今年の台風時の対応には失望しました。
275	自助の推進が公助を減少させるためであってはならない。
276	避難場所に十分な備蓄をするように行政指導をするだけでなく、補助金も十分に交付してから、個人向け備えるように啓発するべきである。
277	何をやっても、発生時間、自分がいる場所などが不確定なため完全な防災は不可能
278	地域ごとの防災訓練実施のマニュアルと訓練方法の資料の配布。
279	先日埼玉で深夜におきた震度3の地震でも揺れが強く感じました。普段からの備えも少量の水しかなく、実際にライフラインが寸断されるような大規模地震がきたら、何もできずただただ困惑してただずむだけだと思えます。しかしながら南部地域在住で首都圏からも近いこともあり、すぐ復旧するのではないかとの甘い考えがあり、楽観視してしまいます。その都市機能ですら停止してしまうような地震がきたら・・・と思うとゾッとします。ですが・・・。
280	必要なことは認識しているが、日々の生活の優先度付けを行うと後回しにしてしまう。
281	農村地域は、食料、煮炊き、水の確保等何とかなる。町中の人は援助を受けるだけでなく自ら確保して欲しい。
282	自分自身に災害体験がなくどこか他人事で災害に対する認識が低い。
283	毎年、防災学習センターに行き、地震への備え等について、家族で学習しています。普段から学習していれば、いざという時に慌てずに済むと思うからです。
284	トイレが一番心配。
285	断捨離をして、なるべく物を持たないようにしたい。老後の蓄えの事や、災害で家がなくなる風景を見ていると、物のはかなさがよく分かりました。あと、崖が崩れて女子高生が亡くなったけど、戦闘機を買うお金があるんだったら、インフラや道路のメンテナンスやってほしい。
286	団地の自主防災会の活動を通して、活動している。食料、水の他に簡易トイレなどが重要と考えている。
287	まず生き延びてから、すべてが始まると考えている。大震災になったらほとんどの備蓄は役に立たず、自然界の物を活用する方がいい。
288	「平常時の災害用伝言サービス」を知っているが、体験方法がよくわからない人が多数いるのではないかと。更なる体験方法の周知を願いたい。
289	高校卒業くらいまでは、子供については、災害時に学校で所在を把握してもらえたら安心。電車で離れた場所にいたりしたら、どうにもならないので。電話も通じるかどうか分からない。スマホを持たせたとしても、学校に持ち込んではいけないことになっている。登下校時なら連絡が取れない。
290	地震は復旧に時間がかかるので、被災者の長期の支援対策（避難所など）が必要だと思えます。
291	地震の無い日々慣れてしまうと備えが疎かになってしまう。

292	<p>昨年の大雨、豪雨の影響で荒川、利根川があと少しで氾濫するところまで、水位があがった。熊谷市の荒川の増水は近年見ないレベルまで水位が上がり、避難警報が異常に鳴って、大変恐い思いをしたらしい。</p> <p>熊谷市は平らな土地に市街地があり、荒川が氾濫したら、ひとたまりもないだろう。東松山市のショッピングモールが水没したように、熊谷市街地も水没したら、逃げられないだろう。熊谷市周辺には陸上自衛隊、県営行田浄水場があり、熊谷ドーム周辺は、震災に強い土地だと思う。熊谷ドーム周辺を地域災害拠点基地にしたほうがいいのではないだろうか？</p> <p>東京の立川市は災害拠点として、首都圏が機能しないときのバックアップとしてある。熊谷市もさいたま市周辺地域で災害があったときの、避難場所として、災害基地をつくるべきだと思う。病院、自衛隊、水道、避難地、食品備蓄庫、熊谷ドーム周辺に早急につくるべきだと思う。大雨、豪雨は、もう毎年のように来ると思う</p>
293	自分なりに、勉強したい。
294	雨水タンクや停電時のソーラー自家発電に補助金を充実させていただきたい
295	東日本震災の教訓が薄れてきているので、改めて考え直したい。
296	<p>2011年の震災後から少し意識が変わりました。</p> <p>東日本大震災の経験を生かして生活していきたいと思っています。</p>
297	直下型に遭遇したら、まずは、難しいかと思いますが、幸いにして私の住んでいる地区は平坦地なので液状化現象が無ければ、何とかなんと、多少甘い気持ちがありますので、肝に銘じておきます。備えはしています。
298	『災害に備え、普段から水を備蓄しましょう』と言われますが、重い水を保存したり持ち運んだりするのは大変です。備蓄を楽に出来ないのでしょうか。防犯も気にしています。災害時の犯罪対策はどうすればいいのか。それも考えてしまいます。
299	・突然の天変地異にも対応するべく今後も対策と予防に努めます。
300	最低限の備え（水・食料・防災グッズ・避難場所の確認など）は準備してあるが、震度7以上の大規模災害ではどうなるかわからない。家は一応地盤改良して新築（築26年上）したが、隣家と近接しているのでどうなるか？ 想定される直下型で被災すれば火災で（延焼）全滅区域となっているので防ぎようがない。自然には逆らえない。
301	東日本大震災等の大型地震の被災者の体験談などをよく聞いて、自分自身の意識を高めておくことも大切ではないかと思う。
302	地震に強い地盤の上に家を建てる。価格だけ安ければと買う事のないようにする。確認申請が通れば安全とは限らない。
303	何とかなるだろうと思っています。 実際自分が被災しないとわからないのでしょね
304	地域の市役所には備蓄品があるそうですが、近くの公共施設（公民館）には備蓄はないそうです。財源が厳しく、手が回らないようですが、県なり国なりから備蓄品の購入資金を回すことはできないのでしょうか。
305	家を建てる際に、可能な限り家具類を埋め込み式にしました。また、リビングルームの家具にはL字型の転倒防止を付けています。埼玉県は地震や台風などの災害が少ないので、危機感がイマイチという感じです。
306	結局地震が起こると避難場所もどうなるかわからないと思うので情報をちゃんと届けてくれるようになにか対策をしていただけたらと思うんですけど・・・個人では出来る事はしれています ペット問題 赤ちゃん問題 窃盗 女性を狙う等 ストレスが加わると 思わぬ問題が出てきそうです。阪神や東北に学んでおいて欲しいなと思います
307	食料の消費期限、置く場所のことを考えると、備えについて躊躇している。備蓄や避難について、検討する必要性を感じている。
308	今年から犬を飼い始めたので、犬を含めて皆で家に留まれるように常に考えている。オール電化だけでしたが不安解消と省エネのために、太陽光発電システムを設置しました。
309	電気は我慢できるけど。ライフライン（上下水）だけはなんとかして欲しい。
310	被災者の実体験をもとに役に立った情報を提供するのが良いと思います。
311	地震は必ず起こる。 自治体の備えを期待してはいけない。まずは自分自身で備えをしなければならない
312	地震発生直後には、対応を考えるが、どうも具体的な行動に移せない。家具等の固定方法等について、出前講座等を発展させて公民館等で、固定器具の選び方も含めて教えて欲しい。
313	埼玉南部に東京の人が避難して来た時、どこに収容するのか？ 不安ですね。
314	災害用伝言サービスが無料の日があると聞きました。そういうのを周知していただくとよいと思います。

315	怖いですね。水 食料の備蓄場所は どこが良いのか?????避難時 履物についてどう考えれば 良いのか?????
316	災害対策の準備も時間が経過するとのど元過ぎて、忘れがちになってしまう。通常時での繰り返し指導してほしい。
317	『なんとしても二階へ上がりたい。どうしても二階へ上がろう。この熱意がハシゴを思いつかせ、階段をつくり上げる。』（松下幸之助）
318	一般市民が災害時に活動するとなると消防団員という位置づけになると思いますが、東京のように災害時支援ボランティアを設けたり、学生消防団を設けたり、未成年者・高齢者・性別を問わずに全県民が何かをされる側ではなく、何かをする側になる為のスキル習得・訓練を全県民に義務として課すようにならないと、大規模災害では成すがままになってしまうと思います。
319	居住地域が比較的地盤の固い場所と聞いていて、確かに近くに行政センター・学校等の公共施設も多く、安全性は高いのかとは思っているが、東日本の時も大きく揺れ、停電（オール電化の為断水にも繋がった）も発生したし、今後は甚大な被害が出ることも十分考えられるので、防災グッズの完備・避難場所の周知徹底・水の確保（自治会内に井戸のある家があり、緊急避難先にもなっている）等、自己責任で備えることが不可欠と思う。
320	非常時に大切な防災無線がほとんど聞こえないと思う。（毎日登下校の連絡や探し人の連絡も音がやまびこのようになって、内容が把握できない。台風などの際には全く聞こえないだろうと推測している。せめて、ピンポンパンのような音を非常時には空襲警報のような、サイレンのような音に変えてほしい。最初の音だけで、なんの警報がわかるようお願いしたい。
321	わたくしを含め多くの人が、繰り返される報道でリスクを承知しているのに十分な対策を取っていないように思えます。ではどうしたら改善するのか。どうしたら自覚を変える事が出来るのか。程度は違いますが、核兵器をやめられない、原発をやめられないと同じかも。どうしたら変わることが出来るのか。やはり、政府の指導者が決意を具体的に示し世論に訴える事が一番効果的に思えます。
322	震災が現実味がなく用意が出来ていないが、用意しないといけないとは常に思っている。
323	自助、互助、共助、公助の認識が必要
324	備えあれば憂いなし。 ただ、生命に関しては、運だと思う。 自助はすべし。 公助は、あてにしすぎてはダメ。
325	今年は準備します
326	実際、水、食料の補給にどのくらいかかるか、指針を周知して欲しい
327	どこまで必要かの判断が難しいです。
328	水はあまり備蓄していないが、野菜ジュースなどを多めに用意している。
329	自助・共助・公助 災害時は隣近所の助けや支え合いが大切だと思う。つまり「近助」 町会への加入率が下がっているようだが、万に備え、隣近所が良い関係にあることが大切であると思う。
330	昨今の災害を見るにつけ、地域計画的規模の洪水水位を上回る高さの免振人工地盤を建設できないものかと考えます。イニシャルコストは馬鹿になりませんが、人工地盤なら、電力上下水道などのインフラもスラブ裏に懸架するだけで設置可能であるし、メンテナンス時の掘削作業も不要となります。 試しにどこかで実現できたら素晴らしいなあと思って居ります。
331	地震前に、自ら備えることが身を守る最大の方法だ。まずは一軒家では2階に寝る。次に本棚など重い家具は1階に移す。そして揺れ始めたときには、頭を守る。
332	すんでる住所の予想地震規模はどのくらいかのマップをPRしてください
333	いつ起きてもおかしくないと思いながら生活している。 電車で通勤している以上、帰宅困難者になる。 生きた心地がしない。
334	家の耐震性についても合わせてアンケートをお願い致します。
335	地震などの災害で気になるのは、電柱などが倒れること。更に気がかりなのは、学校などにある、高さが5mちかくある大木の傾倒です。 電柱の地下埋設、大木の補強、水道管の耐震化なども忘れずに、行ってほしいと思います。特に、避難場所になっているところの周囲は、早めな対応が必要と思います。 昨年台風水害でもわかったように、河川を渡って非難するのは被害拡大につながります。避難場所の周囲から、耐災害の処置を行ってください。
336	障害のある方や高齢者、弱者を受け入れる避難所の検討を進めてほしい

337	日常の生活において、地域社会のコミュニケーションを大切にしています。公園の掃除、防犯パトロールの参加、趣味の会の参加、地域の元気体操のリーダー、地域サロンの参加、近所の方と挨拶を積極的しています。
338	・最近、頻繁に地震が発生している。この時ほど訓練が必要とおもう。
339	アンケートを実施して早速自身の備えについて、家族で話したいと思います。ありがとうございました。
340	町などにおいて大地震が来た時の訓練をして欲しいよね。
341	緊急避難所の設備があまりに貧弱で利用したくない。
342	埼玉県は岩盤が固く安全とも聞いたので、必要性をあまり感じていない。
343	個人の備えも足りないが、自治体の備えも足りない。
344	備蓄用の食料などは、こまめに買い足しています。
345	水の買い置き元々していても、期限が来ると使わないといけないと無理に思うのも大変ですし、年を取ってから備蓄できるのか薬はどうするのか？と全く分かりません。自己責任なんでしょうか？ 県としていつくるか分からない災害に対して県民が衣食住、薬、医療など平日頃からサポートして下さる態勢が整え、アピールしていただければ、私達は安心した毎日を過ごせ、埼玉県に住んでいてよかったと思えるのですが。
346	まだまだ自分自身の危機感が足りないと思いますので、そのへんは正して行きたいと考えています。
347	改めていろいろ考え準備します
348	備えを、確実にしなければと、強く反省。
349	他地域で災害があるたびに必要性を感じるが、具体的な備えはほとんど手つかずのまま。今後、最低限の水、食料、生活必需品（トイレトペーパー、電池ほか）は用意せねばと改めて感じた。
350	食料、水とともにバッテリーが必要
351	東日本大震災発生時、東北地方では”テンデンコ”されていると思いましたが、あまり過去の経験が生かされていなかったようです。小学校の庭に待機させられて、災害に合った子供たちへの教育指導にまったく生かされていなかったようです。日本は災害の多い国です。自分の命は自分で守るという”テンデンコ”を全国的に広めて欲しいですね。
352	防災の必要性は高まっていると感じています。地震に加え、水害対策も必要性を感じます。
353	地震のないことを祈る
354	政府や自治体が防災対応をリスク回避で対応を先手で打つべきと考えます。国の懇談会の費用をそれに使うべきではないでしょうか？
355	水を6日分以上確保する事については川が側にあるので浄化殺菌できる器具を備えています
356	地域の特に身近な隣近所の弱者・高齢者へのフォローを把握している。現在までは、昨年の風水害時の安否確認などを経験している。今後は各自自治体で民間組織（自治会・ボラ活動諸団体等との連携活動が重要と思われる。 実際、昨年の災害警報に伴う、経緯（実態把握）から、問題点が出たと実感しています。（県民への警報の周知・受け入れ先の容量不足など）
357	津波では避難場所まで避難する時間が与えられるが、地震では時間がない、柱や塀など地震で倒れるものを減らすか、身を隠す場所を増やしてほしい。
358	もっともっと積極的に広報してください。
359	日常の備えは重要です。
360	車椅子を使用する家族がいる場合、エレベーターも使えない状態で家から逃げることもままならない。備えは確かに大切で、助けてもらえるように、まだまだ準備が必要だと思う。
361	3.11の時、タンスの上の人形ケースや棚の上のテレビが落ちました。それで落ちやすい物や滑りやすい物を動かないようし、寝室のベッドの上に倒れてくる物が無いようにしています。食料は、1ヶ月位は大丈夫です。
362	水、食料は備えてます
363	出先や移動中に地震にあう可能性も少なくはないので、備蓄もさることながら、何を持ち歩くかも重要だと思います。
364	備えておくべきとは分かっているのですが、実際には何を備えておくべきなのか良く分かっていないのが現状です
365	小さい子供がいるので、避難所へはなるべく行きたくない。周りに迷惑をかけることが心配なので。
366	寝室には極力家具を置かないようにしている。
367	年金生活で、費用がかかる備えはしてません。

368	3.11はすごかったけど 家が倒れるとは思わない。 ペットボトルと米は20kぐらい。卓上コンロ とボンベは用意しています。 災害が無い事を何時も 願っています。
369	年齢が年齢なのでなる様にしかならず最低の量を確保する準備中
370	地震に耐えるインフラの整備をお願いします。 洪水の時に避難できる避難所が近くにありません。近くの避難所は洪水の被害にあう恐れがあります。避難所の見直しをお願いします。
371	家族の構成、年齢に合わせて見直す必要を感じた
372	最近、ひんぱんに地震が起こるので！改めて、備えを考えなおしたい
373	神戸淡路大震災を経験しています。 地震による災害は津波、土砂崩れ。それ以外の建物倒壊や電力・ガス管による火災などは人的災害です。建物も強くすれば重くなり想定以上の揺れでは潰れ救出困難を招く場合もあります。 建物は潰れて当たり前、電気はショートして当たり前、ガス管も破損して当たり前 ここから考えて欲しいです。 免震建築も限界を超えた時点で一気に転倒構造化します。 災害備蓄は被災地では取り出せない場合があります役に立たないと考えて下さい。 公共の災害備蓄は、離れた被災地に届ける物と考えて間違えないです。 忘れられているのは届ける手段も準備が必要です。 自衛隊も有りますが、神戸淡路大震災では道路は埋まり使えない。 活躍したのはオフロードバイクとヘリ！ 港ですら崩れて接岸できず、自衛隊がかろうじて数日後に！ 震災復旧で重要な道路を確保するための重機も必要です。建設会社含め救済ネットワークづくりが必要です。後方支援の燃料も必要です。被災地は停止します。車両も入れません。 周りの自治体が確認と支援活動をするネットワークづくりです。連絡は待つとダメです。連絡出来ない地域が一番重度な被災地ですから。火災は各戸のガス電気遮断では防げません。 エリア遮断、電線、地下ガス管、が必要です。強振アラートと連動しても良いぐらいです。 震源地は間に合いません。燃えます。埋まります。 周りの自治体の救援を声を出せずに待ってます。初動速度が重要です。 空振り50回してももし51回目に本災害に手助けができれば良いと思います。 他の自治体への救援準備をお互いに準備する事が本当の準備だと思います。 オフロードバイク隊を自治会レベルで作るのも有りかもしれません。埼玉県はモトクロス経験者も多くいます。災害の地崩れ知識の勉強や医療基礎、資格登録や緊急招集、有事の二次災害補償問題！課題いっぱい乗り越えて下さい！地域連携に尽きます。 原発もメルトダウンして当たり前で設計すれば、炉の周りは鉛の壁や何メートルもの鉛の床できていたでしょう。潰れて当たり前！そこが大切だと思います。
374	帰宅難民になりたくないなので、できるだけ勤務先は家から近い場所がいいです。 今はやや遠いので、職場を変えたいと考えています。自転車や徒歩で行ける範囲がいいですが、なかなか思うようには見つからないです。
375	住居の周辺は幸いにも河川の氾濫、土砂崩れといった危険の因子がありません。問題は地震の際、住居の倒壊を免れてもライフラインが機能しなくなった時点での対応をどうするかを考える必要があると思います。
376	地震への準備や対策はしているつもりですが、大地震の発生に備えていると自信をもって言えません。その時はパニックになると思います。後悔しないようにと思っていますが・・・起こらないことを祈るだけです。
377	家族が多いため、人数分の食料や水を3日分用意するのが難しいです。
378	備蓄で言えば、東日本大震災の時もスーパーに行列している人を尻目に全く困らなかつた。 また、新築時に地盤の強固な土地選びと耐震性住宅を重視したので、ウチが駄目なら相当日本もマズい状態だと思う。 つまり、大地震の際は、個人での備えより、水道ガス電気といったインフラや流通破壊が長引かないかが心配。
379	命さえ助かれば、良いと思う。田舎なので被害は少ないと思うから
380	個人での備蓄は限界がありますから 県や市の補助で町内会でも備えて欲しいです。
381	災害はいつ来るかわからないので家族でいつも話し合っています。
382	いつ来てもおかしくないことをもっとPRしてください。

383	集合住宅で、緊急事態時の避難訓練を行った。緊急事態時の炊き出し訓練や避難場所設置の準備作業訓練も行った。応急手当、救急法も習った。家族で避難場所、連絡方法も確認し合った。後は、災害時の水と食料をリュックに補充しなくては。（賞味期限が切れそうになると食べてしまって、補充を忘れてしまうことを反省する）
384	避難所への誘導路の明確化をして欲しい。
385	これから、いろいろと準備をします。
386	避難場所の掲示が必要と思っています。有ると思いますが見える所にして下さい
387	最悪のケースを想定したシナリオを示して、平常時から何ができるのかを分かりやすく示す必要があると思います。 行政だけでは周知・広報は難しいと思いますが、昨年末にNHKで放送された防災番組のようなものは視聴者にとって効果的だと思います。行政とテレビ局等のメディアが啓発活動において連携する事も大切かと思えます。 災害時には「誰かがどうにか、してくれない」、自助・共助が大切ということ、県民一人一人が自分事として考えていけるように啓発等にに取り組む必要があると思いました。
388	高齢者への周知を考えて下さい。
389	伝言ダイヤルを試したことはあるがやり方は忘れてしまった。 年に一度くらい無料で体験できる日があったと思うが、もしそのような日があるのであれば教えてほしい
390	もう少し食料や水など用意しなければと思いました。
391	肺炎のマスク不足をみても自分さえ良ければ、が本音だと思う。買い占めや転売対策も必須ですね。
392	地震の予測は難しいと思いますがいつ、あるかわからないので準備はしています。
393	・日ごろから地震の対策を立てて置くことが重要ですが、現実には難しいです。
394	自分には、関係ないと思ってしまい、きちんと考えていませんでした。これを機会にとらえた家族で話をしたいと思えます。
395	お風呂の水を捨てないようにしています
396	備えあれば憂いなし。
397	これからも備えあれば憂い無しでいきます。子供もいるので
398	居住地区は比較的地盤が強く東日本震災で何も転倒しなかったのがあまり心配はしていないが、都内の事業所へ自動車通勤しており、都内で被災した際の手順が明確でないのが今後決めていかなければと思います。
399	2011年地震ではマンションのエキスパンションや上階室内で大きな被害が発生しました。仕事の一業務はマンション管理ですが、保険査定を鑑みると組合に対しては地震保険加入は勧めておりません。我がマンションは総会で数少ない加入反対派でした。国で保険全体枠が決められるし、査定は厳しいし悩ましいですね。
400	近所とのつながりが希薄になってきている社会なので、やはりつながりをもつことが大事だと思います。
401	1. 19号の被害で避難場所がなくなり防災訓練も避難誘導はしなかった。臨時の措置として間断ない指定が必要では（この間災害あったらどうするのか、大問題） 2. 災害時、自治会館の存在はきわめて有効であるが現在公園内にあるため立ち退きを求められている。特別の措置で免除してもらえないか。
402	「自助」という表現は嫌いです。そもそも自分で、自分たちで自分や自分たちを助けるという概念は何を言わんとしているのかが理解できません。 どこかの国の総理大臣みたいに、そのうちこの国や地方自治体は「自助」と「助ける」とは違う、なんて言い出すのではないかと非常に不安です。 「公助」は自衛隊や警察・消防などによる救助、援助を言い、「共助」は国民、人々が助け合う、支え合うという意味だと理解できますが、「自助」っていったい何を表したいのですか？機会があればぜひ教えてください！
403	対策や準備をしなければいけないことは理解しているが面倒でなかなか行動に移せない
404	備えが中途半端だと分かりました
405	いざというときにきちんと備蓄品が利用できるか自信がない 食糧、水とともに簡易トイレやガソリン、電気関係の品物の用意もしたいが どんなものをそろえていいのかわからない

406	171伝言サービスを体験しようと連絡しましたがこのサービスは現在ご利用できませんとのコメントでした。テスト的に体験できないと実際に利用したい場合、本当に利用できるのか不安です。体験サービスをお願いします。
407	災害はいつ起こるかわからないので今後備蓄を過剰にならない程度に備えつつ防災意識を高めていきたいです。 県や市などでもいろいろな情報公開やイベント開催をお願いします。
408	備えないとダメですね。
409	年に二回程はチェックしないと、決めたことを忘れているから、年二回程はしたいです。
410	準備しなければと思いつつ日常に追われてあまり備えをできていない
411	大混乱になると思いますので最低限の備えはしています。 できるだけ避難生活は避けたいと思っています。
412	自身への備えに対して補助が出るような制度があると促進されると思います。
413	食べ物だけでなく、トイレの準備も必要。 自治体で行う防災訓練の中で、非常時用のトイレの使用体験はぜひともすべき。 使用後の汚物の状態（防臭効果など）は体験しておかないと抵抗感になる。
414	このあたりはマンションだらけで避難所は機能しない。自分でできる備えはしっかりするので、自治体は災害後のライフライン復旧が迅速に行われるシミュレーションしっかりとしてほしい。
415	程度の差はあれど、必ず起こる地震に対し(特に市民の)危機感が圧倒的にない。 ちょっとうるさい位にお互いに周知し続ける必要があると感じる。 幸い日本は義務教育があるので、ここで(地震含め)天災に対する備えについて常にインプットして欲しい。 この時に学校内の人間だけでは危機感は薄れ、形骸化してしまい逆効果になる可能性がある為、外部の人間が立ち会い(消防職員や役所の危機管理職員など)があると良いと考える。 近頃はこれらの活動をうるさいと苦情を言うてくる理解のできない人間がいるが、控える事なく強く大きく絶え間無く活動を続けて欲しい。 これが減災に大きく影響を与えると考えます。
416	自宅から勤務先等の経路が表示されるマップアプリやそのアプリに 非常時だけでも家族の移動軌跡(GSP)が分かる様なものが 有れば良いと思います。
417	実際に被災して避難生活を強いられた方々の経験談や、いざというときに本当に役に立った防災グッズなど、信頼できる情報にアクセスできるようにしてほしい。
418	いつ起きてもおかしくないなので、常に備えが必要だと感じている。地域の避難所で、あるいは自治体などで、その時の支援がどの程度までできているのか心配。
419	枕元に靴やリュックに常備薬や少しの飲み物や食べ物を入れて置いておく事も必要かも？
420	市、自治会等で実施されている防災訓練に毎回参加し、地震への備えを日々留意している。
421	東日本大震災の時の大津波と原発事故には言葉を無くしましたが、阪神淡路大震災の折にテレビで見ました大規模火災も大変衝撃的でした。地震の際に火災が発生することを改めて知りましたが、できたら無償で全戸に感震ブレーカーを取り付けていただければと思います。 また、有事の際には地域内での連携が必要になるなか近年は自治会への加入者が少なくなっていると聞きますが、地域の中で避難所や食料等において助け合う互助が大変重要だと思います。それについて何か対策ができないかと思い願っております。
422	震災時の自警団組織編成の下準備をしておくべき。
423	来るぞ来るぞと言われ続けて40年。子供の時は絶対生き残ると思ったし、若いうちも死ぬ気はしなかった。でも、中年になっても地震はまだ来ない。このまま老人になったら大地震で生き残れる気がなくなって来た。備えは大事。
424	地震に限らず、台風など災害への備えや注意は怠らないようにしたいと思います。

425	犬が居るので、犬を避難所に連れて行っても大丈夫だということの認識を広めてもらいたい。
426	身近な地域の公民館などに、食料や水の備蓄がどのくらいあるのか気になる。
427	地盤、建物とも、しっかりしているところに住んでいるので、たぶん自宅で避難？生活をすると思う。水・食料は保存期間と保管場所が問題。期限切れで大量に捨てたりしていて情けない。トイレや電源確保も問題。
428	再確認して、できる準備から、始めようと思います。
429	何処で地震に会うか分からないので、特に都内に出かける時は必ず屋外で1泊出来る準備と煙にまかれぬ為のマスク、ゴーグル、ライト等は持ち歩いています。
430	私は車椅子利用者だが、最近避難所の最寄りの学校の体育館にスロープがついてくれたのは、体の不自由な私でも避難に来てよといわれてるよう感じれたのでありがたかった
431	障害の子供も高齢の親もいるので、いざの時はやっぱり心配です。
432	高齢者が多い 力が弱い為瓦礫作業が滞ると思う。 カッターもそうだが、作業サポートできるマッスルサポートロボット付けるタイプ？があれば導入検討は？
433	地震への備え、 震災への心構え・・・ 安心と思いきっている・・・ この機会に反省します。
434	対策をやり始めるとキリがなくなる気がして、どこまでやっていいのかわからない。
435	地震のときに避難する場所が遠いので不安。高速道路下ではどのくらい安全か？もし安全なら必要な水と食品の保管場所としてほしい。空に飛べるような乗り物を開発し物資の輸送、人間の移動ができるように考えてほしい。いざというときドローンのような物が活用できるか考えてみてください。
436	なかなか地震への備えは意識はすれど具体的な行動となるとしないので、様々なお知らせやこのようなアンケートも含め行政からの試みは良いと思います。
437	マンションが多い地域では、地震後の食糧確保が難しそう。昔ながらの保存食はかなり有効だと思う。
438	いつ、どこで起きるか解らない地震？ 家族間の連絡の取り決めをしていない事に気づきました？
439	市町村に期待しても無理なような気がする。昨年秋の台風時の対応を考えると・・・
440	通勤途中の避難場所の情報がない
441	備えの大切さを感じていますが、すぐに気がゆるんでしまいます。マンションの高層階なので、エレベーターが止まったら、高齢者の父母は逃げられません。どうしたらいいのかなと心配です。
442	自治会の備えが住民にスムーズに受け渡しができるのか、自治会に入っていない世帯の備蓄用品はどうするのか、わからない事、曖昧になっている部分が気になる。間違いなく本番では揉めると思う。
443	地震災害を含め災害が少ない地域と安心している。備蓄は考えないと思う。
444	避難場所や公民館など広報誌で情報を載せてほしい
445	毎年、備蓄品の賞味期限をチェックし、期限の迫ったものは入替えている。入れ替えたものは期限前に食べるように心がけているが、ついそのままにして捨てるものも多い。
446	最近夜中の警報で起こされています。震度三、四では意味がない。震度5以上にして欲しい。
447	今回質問拝見し、水などの備蓄や災害用伝言サービスの学習をしておかなければいけないと反省しました。本当にいつ来るかわかりませんから。怖いです。
448	東日本大震災に限らずいつかは来るものと考えていますが、どうしても油断してしまいがちです。
449	有事の場合について避難の方法をもっとPRしてほしい。
450	防災情報、避難所の情報を速やかにネットで流して欲しい。そのために非常時の無料wifiの設置など環境を整備して欲しい。
451	マンションに住んでいます。備蓄を心掛けていますが、地元市や県にもお願いします。

452	備えても水。食糧は定期的に交換していかなければならない。忘れるし大変だ。 天災は運をまかせるしかないと思っている。 ただ大きな地震が来た時は家族で集合できる場所だけ指定している。
453	自助の備えが大切であることは理解していますが、一時的な作業ではなく、備えた後の食糧の買い替え、買い増しなどの準備態勢を維持することが煩雑で、十分な自助の備えができないでいるのが、多くの人の実情ではないかと思います。自助の大切さを訴える行政の広報を繰り返し、浸透させていくことが求められます。
454	恐怖を煽るような報道もあるが、食品ロスなども考えてほしい。本当に備蓄が必要なのかどうか。コンビニやスーパーのストック品でどのくらいの日数耐えしのげるのか。自治体でも算出してほしい。
455	対策をしておくべきだと頭では分かっているけど、どうしても楽観的に考えてしまいあまり出来ていません。 何らかの方法で個人の意識を改革しないと、どうしようもないと思います。
456	備えが全くないのが良くわかった。
457	シミュレーションする機会があれば良いと思いました。
458	防災減災には自治会活動が重要。高齢化で役員のなり手が減り、新入住民の理解低下が進んでいます。住民理解の増進に力点をおいた自治体職員のコミュニケーション力等の資質向上がまずは大切だと思う。
459	地震の際にスーパー等小売店で買い占めが起きないように、事前に小売業者と提携（大災害発生時、1世帯〇個まで、居住地住民優先）を結んでおくべきではないか。
460	埼玉県は地震、自然災害が少ない。自分を含めて県民が危機意識が低いと思う。 定期的に広報活動が必要と思う。
461	災害のニュースや防災特集を見聞きする時には、やらなくちゃと思うが、日常の慌ただしさの中で、ついつい後回しになってしまう。一斉に取り組む契機みたいなものがあるといいかもしれない。
462	備えあれば憂いなしは充分認識してますが、畑の真ん中で井戸もあるので、過剰反応はしないようにしている。
463	地震はいつくるかわからないので備えが必要なのはわかっているけどついつい他人事と考えてしまっているのは反省しています。できることから準備をしていきたいと思っています。
464	いつ何時災害が発生するかわからないので 水・食料の備蓄はもちろん 懐中電灯本体にラジオ・携帯の電源が付いたものも何本か常備 幸い徒歩1分以内に小学校とスポーツセンターがあり避難するには好立地 避難場所が遠い住民の場合は前もって指定避難場所を家族で確認したほうが無難
465	つい最近埼玉でもかなり大きい地震がありました。行政でも地震情報をタイムリーに積極的に発信して下さい。来てからでは遅いのです。危機管理が遅くならないようにして下さい。宜しくお願いします。
466	これを機会に家族と話し合おうと思いました
467	無理に移動せずに、安全で最善を考えて行動する。
468	もちろん備えは必要だが、過度な不安はストレスになると思う。
469	平常時に 災害用伝言サービスを体験できることを知らなかったのが 市町村の広報などにも 定期的に記載してあれば いいなと思います。
470	電源 コンセントについては毎日点検し、気をつけている。
471	ペットボトルのお茶やレンチンご飯を普段から使っている。町での乾パンの買い置きもあるらしく飢えの心配はないね！
472	必要性はわかっているが、あまりにも対応が取れていないことが分かった。これを機に実行したい
473	気にはしているが、実際の地震の際には何も出来ない経験ばかりなので、備えてはあるが、中々難しい。
474	改めて、地震の備えをしたいと思います。
475	地震対策はやる事が多すぎて個人には負担。自治会で防災活動しているので、それは支援したいがフル加入しかメニューがない。自治会に入らず地域の食料備蓄に参加したい。
476	対策しなくてはとは思って、はや10年以上経過します。 これを機に進めます。
477	家庭での停電に対する備え等をどうしたら良いかアナウンスして欲しい

478	避難場所は、市で決めています。その場所は自治会会員が集まるには狭すぎるとの意見が多い、又他の場所（小学校）に行くには、地震の時には寸断するようなところを通ることになる意見が出るなど役所の対応には疑問があります。本当に地震のときは、家屋が崩壊してもそこに留まることかなと思います。やはり、自己保全ですかねえ。
479	首都圏一極集中を止める他、被害を最小化し、復旧を少しでも容易にする為、火災延焼を防ぐ緑地や井戸の整備拡大、発電・送電範囲の小規模化等、抜本的な国作りが必要です。
480	本当のところ本当に大きい地震が来たらなるようにしかならないと思うので最低限の対策や備えしかしていないが、自己責任なのでそれで何かあっても仕方ないと考えています。
481	これを機に真剣に考えたいと思いました。備えについて、知る機会をもっと身近に欲しいです。
482	横浜市の公設保育園では保護者に強制的に安否確認の予行演習を行いました。地元市はどうですか？
483	いつか起きると思うが無理せず備えていきたいです。
484	地震は、いつ起きるか不明。十分な備えが必要と自覚しています。
485	町内会に入っていないと、情報や物資の供給を受けられないと聞きましたが、ほんとうですか？
486	まあまあ いろいろ言うけど自分のところは大丈夫と安易に考えてしまいがちです。活断層の具体的な場所、それが有する潜在的な危険性、大変なこと 大惨劇が起こりうることなど 大いに危機感を煽って欲しいと思います。
487	地震のことを考えたくない。そのほかの心配ごと、いろいろあるが、あまり考えず今がよければそれでいいという投げやりな気持ちになっている。
488	報道などを見ていると、備えをしていない人が多いと思う。もっと広報した方が良く思う。
489	そのうちに強い地震が来るのではないかと、多少備えをしているが、まだまだ十分ではないので早めに備えたい。地震が来るたびに、家の中の逃げ場所や出入り口の確保について妻と話している。
490	平常時に災害用伝言サービスを体験できることを周知して欲しい。早速、試してみたい。
491	自宅にいた時に、という前提ですが、水・食料は常に常備しています。ただ、家族がばらばらで外にいた時にはどうなるのか、どうするのが良いのかは、正直不安でいっぱいです。携帯電話の充電は常にしておくように心がけています。が、いざというときにつながるのかどうかは不安です。
492	寝室には家具を置かない。
493	災害時の指導員の委嘱を受けているものの、危機感に欠けているのが実感です。
494	最近では地震が多いので水など今以上に蓄えておこうと思いました。
495	地震の備えは非常に重要です。事業で「事業継続力強化計画」の承認をいただきました。もっと多くの企業で取り組むべきと考えます。
496	タンスを固定したいが、天井がやわくて、固定できない。その部屋でしか、寝られないので、来たら最後と思っている。
497	必ず来るものと思って備えています。都内に電車で通勤していますが、通勤中に起きた時の対策は何もしておらず、しっかり対策していこうと思います。平時から対策はしていこうと思っていますが、最終的に何か困った時に頼れる行政を期待しています。
498	いつかは震災は起きると思うが、起きた時に臨機応変に動けば多分大丈夫だし、もしダメならダメで生きるのを諦めます。
499	北関東(特に栃木群馬埼玉)は災害に対する危機感が薄いように感じます。北関東が主になる大規模災害が少ないからです。実際豪雨の際も川があふれそうでも避難する人はほとんど見られませんでした。このような状況を変えていく取り組みが必要だと感じます。
500	高い建物が無いところの戸建てなので、身を守ることが先決と思っています。

501	東日本大震災の際に埼玉でも計画停電でオール電化の住宅では何も出来なくなったなど聞いたことがあるので、実際に震源地にならなくても日本に住んでいる限りは常に地震への備えは必要だと考えます。水の用意など普段からできることは多いと思います。非常食の用意をして防災の日にそれを食べてまた新しくするなど特別なことではなく習慣化すればいいと思います。
502	県が推進している自助の取り組みに「災害用伝言サービスの体験」も有る事は知りませんでした。しかし言われてみれば大事です。
503	自宅の地盤が弱いところなので地震で揺れたら家が壊れるのではと思い心配しています。
504	各家庭の情報を自治体で点数化する仕組みがあると活用したくなります。
505	埼玉西部に直下型大地震がくることは考えづらい。一応、万が一に備えて、備蓄はしているが、3～6日分と最小限にとどめている。
506	国や自治体から防災道具の補助をして欲しい。
507	わが家では、狭い家なので、趣味のキャンプ道具や食料（缶詰、レトルト食品など）を日常生活や、災害対策用として利用できるように努めています。寝袋もキャンプ用は軽くて便利です。
508	わが家には子どもがおらず、避難所である小学校などへ足を運ぶ機会が全くないので、いざというときも、敷居が高く感じます。すべての人にとって訪れやすくなるように、避難所開放デーを作るなどして欲しい。
509	引越しをして一年未満なので、地域での繋がりがなく、非常時にどうしたら良いのか分かりません。地域ごとの訓練をしている自治体もあるので、どの地域でも必要なことでは無いかと思えます。
510	近年災害が多くなっており備蓄や災害対策は必須と思われませんが、災害対策等に関する補助などがあれば促進に繋がるのではないのでしょうか 例えば備蓄手段の一つとして井戸の新規取り付けに関する補助などがあっても良いかと
511	アンケートをよい機会と捉え、不足している点の改善を計りたいと思います。
512	地震対策として事前にはしておかなければならないことのリストを各家庭に配布したり、Twitterなどのツールで発信したり、ホームページからダウンロードできるようにしたり、コスト面を考慮しつつ一番効果的な方法で実施していただきたいです。埼玉県民は「地震が来ても津波は来ないし…」という考えがあり、他県よりも安全、というイメージを潜在的に持ってしまっている可能性もあるかと思えます。
513	地震の予測は難しい。がしかし、地震学者が日々研究しているのですから旧態然の情報から、一步でも脱皮して、より正確な事前情報を提供してもらいたいものです。
514	このアンケートをきっかけに、備蓄や家具に関する対応を見直したいと思います。自分の考えが不足していることが感じられました。
515	私が住んでいる賃貸マンションでは、画鋲の穴や突っ張り棒の跡ですら、借主が責任を負うと言われていました。そのような中で、壁に傷が付き、退去するときに修繕費用を請求されるかと思うと転倒防止対策をとる事はできません。実際、今年の台風19号の時に窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ることで、跡が残ることを考えるとできませんでした。自然災害による建物自体の修繕は貸主が行うことにはなりますが、そこに住んでいる人への災害を最小限にする意味においては借主に制約が多すぎます。現状の賃貸借契約のルールの改善も含めて埼玉県としての対策を講じていただきたいと思えます。
516	自分の命は自分で守ることを常日頃考えています。 私は現在自治会長をやっている、いざと言う時に対応出来るのか自問自答している所です。
517	水、食糧だけでなく、簡易トイレも備蓄することを始めました。
518	大事なことと思いつつ、まだ用意できずにいます。早急に備えをしないと、と、今回のアンケートを見ながら感じました
519	自家発電機と水の濾過機も用意したいけれど高くてなかなか用意できない。少しでも補助があれば良いのと思う。
520	東日本大震災を小学生の時に経験し、備えの大切さを実感しました。私の場合、避難所の小学校が少し遠くにあるので、高齢者の逃げ遅れなどが心配です。近場ですぐに避難できるような場所ができると良いと思います。
521	東京に住む家族との連絡や集合の場所を決めてありません。この際、打合せしようと思えます。

522	高齢者や障害者などの避難について、プライバシーへの配慮から市は職員と関係事業所で対応するつもりのようなのだが、本当にそれで安全が確保できるのでしょうか？
523	備えをいつもやろうやろうと思うのですが置く場所もなく好き嫌いの多い家族分一人ですらどう備えたら良いか…で、結局備えてません…
524	とりあえず家にいるのが安全だと思います
525	埼玉県は地盤が硬いが、首都直下地震が起きたら被害が大きくなると思うので、対策を日頃からしないといけないと考えます
526	避難場所をわかりやすくしてほしい
527	地盤がしっかりしている所に住んでいるので、あまり心配していませんが、避難所は、決めています。
528	太陽光発電で最低限の電力は使用可能 ガスはプロパンなので使用可能の可能性大 灯油は一斗を切らないように心掛け 車やバイクの燃料は半分以上にしているつもり 即席麺・乾麺やパスタ類とレトルト品は普段使いより多めにある 山がちな地域なので道路の支障が起きれば地域ごと孤立 大雪の時は生活圏は動けても国道すら使えずスーパーにも物が無く 一週間位市街地へも行けなかった記憶から 自分達でどうにかするしかない感は 強いかも
529	小さい子どもがいるので、ミルク、離乳食、オムツはもっと備蓄しておかなきゃいけないなと思いました。
530	一人暮らしなので、そもそもあまり生き残ることに切実感がない。
531	いつ何が起こるか分からない時代なので、常に家族同士で 少し離れた所に住んでいる親達のことを含め、避難の場所や方法について共有化する必要性を感じる。
532	一応対策はしているが、万全ではないだろう。 地震はおこらないようにねがっています。
533	アパートに住んでいるので地震の備えの物を置いておくスペースがあまりない。 また、学生なので地震があったらどこに避難するのかまた、市はどんな対策をしているのか情報が得られずわからない。
534	避難所の中でどこに行けば物資等が届くのか不明で心配です。
535	スーパーとかもっと身近な店に防災バッグなどがあれば何気ないときに買ってみようと思う人が増えると思う。それなりに探しに行かないと防災グッズって売ってない気がする。
536	被災して自宅が住めなくなった時、避難所にお世話になるとしてもその後の生活が一番心配です。
537	家は耐震ですぐ近くに避難できる場所があり、PHEVの車から電気をとったり普段からアウトドア生活しているので多少の不自由な生活には耐えられるように思っています。ただ都心にでかけていた場合は生死に関わる事態でパニックに自分も家族もなると思います。
538	自助について啓蒙する際に、 公助で食糧、水がどの程度期待できるのか周知すべきです。 自助、共助、公助で厳しい時を乗り越えていくのですから、期待できる公助が足りないと分かると必要な自助準備を促すことができます。
539	非常食料は備蓄していないが、ブルーシートやロープなど屋根が破損することを想定して常備している
540	時期はわからないものの、発生したら甚大な被害が想定される首都直下地震について、有事に慌てないで済むように事前に家庭等への食糧、水の配布等の施策は打てないでしょうか？ 自治体で保管するには、場所の確保等で費用が掛かるため、一つの手段にならないでしょうか？
541	地域によって様々ですが、もし、災害が起きたら地域の方々が主に先立って動かなくてはならず、学校が避難所となっても、直ぐには中には入れないのが不安です。校庭で待機も、いつまでなのか明確な案を知りたい。
542	災害時の水・食料の備蓄方法のやり方を指南してほしいです。

543	埼玉県は内陸部（海なし県）で、火山も少ない事から比較的大きな災害が起きにくい地域ではないかと思います。過去50年くらい遡っても現実にそうだったと思います。首都機能の移転とか、移住先とか、もっとアピール出来る可能性を秘めていると思います。
544	地震に対しての水・食料の備えは必要だとは思いますが。ただ、過度の備えは必要ないと思います。 どちらかという、災害時パニックにならないように基本知識を沢山知っておくことが何よりも大切だと感じました。